

## 高齢者の熱中症対策

### 飲料配達を通じた見守り／エアコン費用設置助成の拡充

- 【ポイント】 ● 飲料配達を通じた高齢者の熱中症等の予防や啓発・見守りを新たに実施  
● エアコン購入費用の助成上限を拡充／さらに撤去費まで対象に拡充



国は、令和12年までに熱中症による死者数を半減させる目標を掲げています。特に、高齢者は暑さや喉の渇きを感じにくく、自宅での熱中症リスクが高いとされています。

港区では、こうした状況を踏まえ、在宅で生活する高齢者を対象とした熱中症等の予防・啓発と見守りの両面から対策を強化します。

#### 1 飲料配達を通じた啓発・見守り【新規】

飲料等の配達を通じて、高齢者の健康状態を確認し、熱中症及び隠れ脱水の予防・啓発を行います。また、明らかに支援が必要な場合には、関係機関等（ふれあい相談員による訪問、体水分計の測定と啓発など）につなげます。

**対象** 75歳以上の在宅で生活する区民

（令和8年度中に75歳になる方を含む約2万6,000人）

**配達内容** ・1人当たり500ml程度の飲料6本（水3本、麦茶3本）  
・熱中症等に関する啓発リーフレット等

#### 2 エアコン購入設置費用助成【拡充】

**対象** 自宅に使用可能なエアコンがなく、  
65歳以上の高齢者のみ等の世帯構成かつ世帯全員が住民税非課税の世帯

**助成対象** 本体購入費、設置工事費、設置に伴う既存エアコンの撤去・処分費

**助成上限** 11万1,000円（2万4,000円増額） ※東京ゼロエミポイントとの併用可

#### 【問合せ】

高齢者施策推進担当課長

電話：03-3578-2395



つながる港、つなげる未来

港区は令和9年3月15日に  
区政80周年を迎えます